2020年11月8日(日) メッセージアウトライン「奇跡中の奇跡」マタイ9:9~13

聖書箇所:マタイの福音書9:9~13

タイトル:「奇跡中の奇跡」

テーマ:本日の聖書箇所はマタイの福音書9章の一部を取り上げているが、この福音書の8章と9章には、イエス様のなさった奇跡が10ほど記されている。奇跡のオンパレードとも言える箇所である。

この福音書の著者マタイこそ、9章9節でイエス様から「わたしについてきなさい。」と言われてお従いしたマタイ(別名レビ)である。イエス様の数ある奇跡の中で、一番の奇跡とは何であろうか。マタイが、イエス様のなさった多くの奇跡の中に、自分が救われた奇跡をさりげなく書き記しているのはなぜだろうか。考えてみよう。

- 1. マタイ8章、9章に記されている奇跡(個人への奇跡だけをピックアップ)
 - ①8:2~4 ツァラートに冒された人の癒し
 - ②8:5~13 百人隊長のしもべの癒し
 - ③8:14~15 ペテロの姑の癒し
 - ④8:23~27 舟の中で風と湖をしかりつけて、嵐を静められた
 - ⑤8:28~34 悪霊に憑かれ、誰の手にも負えない凶暴な男から悪霊を追い出された
 - ⑥9:2~8 中風の人のいやし
 - (7)9:9~13 取税人マタイの救い
 - ⑧9:20~22 12年間長血を患った女の癒し
 - 99:18~19、23~25 会堂司の娘の癒し
 - ⑩9:32~33 悪霊に憑かれて口のきけない人の癒し
- 2. 取税人マタイの身に起こったこと
 - ①当時の取税人とはどんな人?
 - *ローマ帝国の税金を取り立てる税金取り立て下請け業者。同胞からの嫌われ者。当時のユダヤ人社会から受け入れられなかった
 - ②イエス様のなさったこと (9:9a)
 - * 「私について来なさい」とマタイに声をかけられた。
 - ・リビングバイブル「来なさい。わたしの弟子にならないかね」
 - ・詳訳聖書「わたしの弟子になりなさい。(わたしの仲間に入って私に従って来なさい)」
 - ③マタイの反応 (9:9b)「すると、彼は立ち上がってイエスに従った」

- 3. イエスに対する非難(9:10~13)
 - ①「イエスが家の中で食卓の席に着いておられた時...」
 - *「家の中で」他の聖書との比較
 - 「マタイの家で」 リビングバイブル
 - ・「その家の中で」 詳訳聖書
 - ・「その家で」 新共同訳

イエス様が食事の席に着いておられたのはマタイの家ということになる

- *マタイはイエス様に従って弟子とされ、喜びと感謝をもってイエス様と弟子たちを 食事に招いた
- *取税人マタイの招待客は、取税人仲間と「罪人」呼ばれた人ばかり
- ②パリサイ人からの非難
 - *自分たちは律法を守っている、罪人ではないと思っている人たち 「なぜ、あなた方の先生は、取税人たちや罪人たちと一緒に食事をするのですか」 イエス様に対する非難、とんでもないことをしている
 - *イエス様の言葉(9:12~13)

「医者を必要とするのは、丈夫な人ではなく病人です。『わたしが喜びとするのは真 実の愛。いけにえではない』とはどういう意味か、行って学びなさい。わたしが来 たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためです。」

③自らの身(取税人、同胞からの嫌われ者、罪にまみれた人生)を振り返ったマタイ このイエス様との出会いの奇跡をマタイは感激しつつ記録した

4. 結論

神の前に全く罪人であったとはっきり自覚したマタイは、イエス様の多くの奇跡の中で 自分のような者が救われたことこそ奇跡中の奇跡だと、この奇跡をさらりと、何よりも大 切な奇跡として書きしるしたと思われる。

あなたの人生の中で、決して忘れてはならない大切な神の奇跡を思い起こしてみよう。